

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(5/19)

文・写真：武田、写真：豊田、山國、山田

日時：2019(令和元)年 6月 6日(木) 9:30～15:30

気象：天候=晴

活動エリア：「4 4 林班ろ」、並びに東海自然歩道周辺

活動内容：「4 4 林班ろ」内の枯損木・倒木・中折れ木の除伐、東海自然歩道一帯のラップ巻き回収

参加者：猪川 誠、石原順子、泉家恵子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、

越野雅美、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、豊田哲也、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山 國

計 17 名

<史上最多、17人の”勢揃い”>

新加入の山岳会員に加え、特に昨秋来トレイルラン愛好家の方々も参加下さるようになり、以来、森林づくりは大いに力を増している。折しも今日の暦は「芒種」、イネなど芒のある穀物植付けの時節だそう、実際、活動地では幼樹が顔を出し始めている。こうして沢山の人達の手で新しい森が育っていくのは楽しみなことである。とは言え、人数が増えた分、作業の調整など、先々の森林の姿も見越した**戦略的な取組みが一層大切になる**。合言葉は「安全第一」、**連携を密に、無理なく**頑張りたいもの。

さて、**今日から夏の活動期**、山頂部に近い「4 4 林班」に場所を移し「い」の干害保安林整備に着手する。一帯は昨年の台風の傷跡も気懸りなエリアで作業道にも倒木が滑り落ちている。17人中 14人がチェーンソー2台の力も借りて担当する。

残る3人はナラ枯れの防止策で施した幹のラップ巻きの回収。濡れタオルとラップで巻き立てて四年、カシナガ被害の痕跡が見られなくなったことから行った。鎌と大きなポリ袋を手にも自然歩道を山頂に向う。対策は歩道や作業小屋周辺の木々に施したものである。

<今日の成果>

「4 4 林班ろ」組は枯損木・損傷木の除伐など、放置木の玉切りなどで、約0.4haを整備、枯損木は15本以上、径30cm程度の倒木なども15本は処理。

回収組は天狗杉までのラップ巻きを外して廻る。数は40本を上回り、袋では四つ分が満杯で、持ち帰って廃品回収へ。好天、気温も上がらずの一日だった。

<季節の山だより>

季節の花は**オカタツナミソウ**、昆虫図鑑は**アオハムシダマシ**(金緑色の金属光沢で、玉虫と並んで国内で最も美しい甲虫との事)と羽化したばかり(らしい)**キアシドクガ**(ドクガ科だが毒はないとのこと、天狗杉ではアサギマダラの優美な姿(残念ながら写真なし)、なお本山寺の鐘楼も修復が始まっていた。

(本文 終り)

<集合写真>



<鐘楼修復中>



<ロープ掛けで伐倒方向を統制>



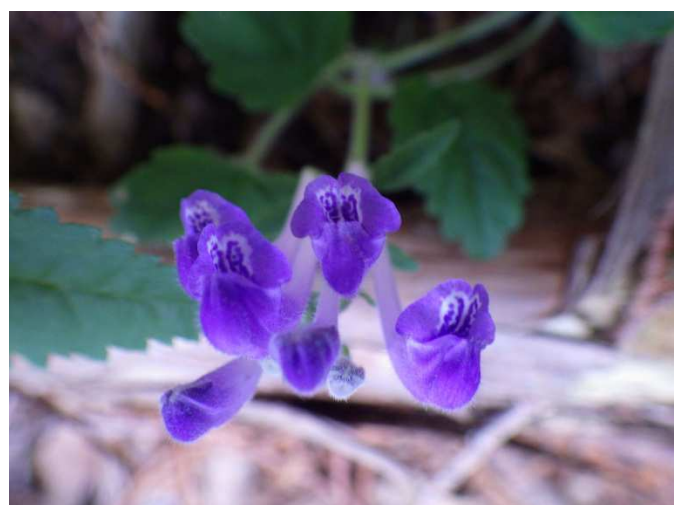
<倒木を処理し作業道を整備する>



<整備後の作業道>



<オカタツナミソウ>



<台風で折れた松の処理中>



<作業道に塞ぐ倒木を処理する>



<ラップ巻きの回収>



<回収したラップ類の袋>



<キアシドクガ>



<アオハムシダマシ>

